



今年度も看護師20名、作業療法士1名、合計21名の新規採用職員が
当院スタッフとしてスタートを切り、早くも半年余りが経過しました。

4月当初は慣れない業務に戸惑いも見られましたが、現在では徐々に
業務や職場の雰囲気にも慣れ、来院された皆さんと接する機会も多くなっ
てきています。

今後も、当院の理念である「良質で安全な医療を提供し続けること」
を实践できるよう一生懸命努力してまいりますので、どうぞよろしくお
願いいたします。

128列マルチスライスCTが稼働しました。

当院では、128列マルチスライスCT装置（Philips社製、Brilliance iCT-sp）を導入し、7月から稼働しました。128列とはX線を検出する検出器の列数のことで、従前から当院で稼働している2列・6列マルチスライスCT装置と比較して、より高速に（上腹部を3～4秒、胸部～骨盤部を7～9秒）、より広範囲を（全身を一度に撮影可能）、より細かく（最小で0.625mm）撮影することが可能となりました。撮影速度が速く、短時間で広範囲の撮影が可能のため、息止めの時間を大幅に短縮することができ、患者さんにも楽に検査を受けていただくことができます。

また、CTと同時に導入した画像処理装置（ワークステーション）を用いることで、あらゆる方向から臓器を観察したり、高精細な3D画像を作成することができます。さらに、血管の太さ、肺気腫の体積、肝臓の容積の計測などを行うことで診断、治療、手術支援を積極的に行うことが可能となりました。

もう一つの大きな特徴として、今まで心臓カテーテル検査で行われていた冠動脈疾患のスクリーニング検査も、この128列マルチスライスCTで行うことができます。造影剤を使う点では心臓カテーテル検査と同じですが、検査に伴う合併症のリスクは大幅に低減されます。検査

時間も10分ほどと短く、検査後も特別な止血操作や安静時間の必要もなく、外来での検査が可能となります。

この装置を用いて市民の皆様のお役に立てるように努力してきたいと思います。



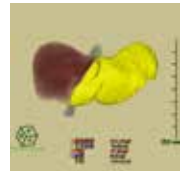
下肢動脈CT(血管造影)



頸動脈CT(血管造影)



冠動脈CT



肝臓CT(容積計測)



がん相談支援センターのご案内

がん相談支援センターでは、患者さんやそのご家族などのがんに関する不安、疑問に適切に対応し、安心して治療や療養をしていただくため、がんに関する相談をお受けしています。

窓 口	1 階 医療相談室
相談受付日時	月曜～金曜日の午前9時～午後5時 (祝日、年末年始などの休診日を除く)
相談料	無 料
対 象	どなたでも相談できます。
相談内容	● がんと言われて頭の中が真っ白です ● セカンドオピニオンについて聞きたい ● がんの治療費が心配 ● 緩和ケアについて知りたい など ※診断や治療の判断はしません。
問い合わせ先	がん相談支援センター 電話 018-823-4341 FAX 018-866-6880

秋田県がん診療連携推進病院に指定されました。

当院は、秋田県が定めた整備要件を満たしているものとして、秋田県がん診療連携推進病院に指定されました。指定期間は平成22年4月1日から平成26年3月31日までの4年間です。



肺がんの 薬物治療について

5大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、肝がん、乳がん）の一つである肺がんの治療法などについて、呼吸器内科の伊藤 武史先生にお話を伺いました。



呼吸器内科
伊藤 武史先生

国内における肺がんの年間罹患数は胃がん、大腸がんに次いで3番目に多く、年間の死亡数は2008年時点で60,000人を超えており、がん死亡の中の第1位となっています。今後も増加していくことが予想されます。

肺がんの原因と深い関わりのあるのが喫煙習慣です。非喫煙者よりも喫煙者は約4倍肺がん罹患する危険性が高いと報告されています。しかし、男性肺がん患者の約70%が喫煙者であるのに対して女性ではわずか15%ほどであり、残りの80%以上が非喫煙者にもかかわらず肺がん罹患していることとなります。こうした差異は肺がんが多様性をもつがん腫であることを示す一例であり、肺がんに対する個別化治療の必要性を裏付けるものです。

肺がんは非小細胞肺がんと小細胞肺がん

大きく分類され、それぞれ異なった治療法が確立されてきました。全肺がんの約80%を占める非小細胞肺がんでは、さらに扁平上皮がん、腺がんや大細胞がんからなる非扁平上皮がんに分類されますが、これまでは治療成績に差がなかったため治療法は特に区別されてきませんでした。しかし、近年分子標的薬や新しい抗がん剤が登場し、さらに組織型やがん細胞のもつ遺伝子変異の有無などによって個々の患者さんに適した治療の選択がされるようになり、治療成績の向上がみられるようになってきました。

肺がんは難治がんの一つですが、近年の肺がん薬物治療は目まぐるしく変化、進歩しています。今後も新薬の開発と治療の個別化により治療成績の一層の向上が期待されています。

シリーズ病棟紹介 — 第1回 —

8階南病棟

当病棟は、呼吸器内科を主体とした皮膚科・消化器内科の混合病棟です。先生方は、常に患者さんにとって最適な治療を検討し提供しています。私たちナースは、医療を担うパートナーとして、最新の肺癌治療や緩和ケアを行う一方で、高齢の肺炎患者さんの療養生活全般のケアを行ったり、消化器系の内視鏡検査の介助を行ったり、提供する看護は多岐に渡ります。

平均年齢35歳の脂ののりきった元気なナースたちが、「いつも隣に… 暖かい言葉と笑顔であなたの安心をサポートします」をモットーに、毎日駆け回っております。患者さんの退院時アンケートでは、「笑顔に癒された」「話を親身になって聴いてくれた」などお褒めの言葉をいただくことも

多く、このような言葉に逆に励まされ元気の糧にしています。患者さんと医療スタッフの良好な人間関係は、治療との相乗効果を生み、皆さんの期待する医療の提供に繋がるように思います。

これからも、一人一人の患者さんを大切に、頼りにされる病棟を目指していきたいと思ひます。

8階南病棟看護師長 成田 睦子



新型インフルエンザ予防接種のお知らせ

新型インフルエンザ予防接種の予約受付を下記のとおり行っています。
成人・妊娠中のかた・小児で受付場所等が異なりますのでご注意ください。

※接種するワクチンについて

インフルエンザHAワクチン（3価ワクチン）を接種します。これは、昨年の新型インフルエンザと季節性インフルエンザAおよびBの混合ワクチンです。



	成 人	妊娠中のかた	小 児
予約受付日 時	月曜日～金曜日の午前9時～午後4時 (祝日、年末年始を除く)	月曜日～金曜日の午前9時～午後4時 (祝日、年末年始を除く)	月曜日～金曜日の午前9時～午後4時 (祝日、年末年始を除く)
予約受付場 所	1階：総合案内 ※予約受付時に問診票をお渡しするため、 原則として電話での受付は行いません。	医事課（予防接種担当）	2階：小児科外来
接 種 日	平成23年1月28日（金）までの 毎週火曜日・金曜日 (祝日、年末年始を除く)	平成23年1月28日（金）までの 毎週水曜日・金曜日 (祝日、年末年始を除く)	平成23年1月28日（金）までの 毎週月曜日・金曜日 (祝日、年末年始を除く)
接種場所	呼吸器内科外来	産婦人科外来	小児科外来
接種時間	午後2時から	午後3時から	月曜日：午後2時30分から 金曜日：午後3時から

かしわっ子コンサートが 開催されました。♪♪♪

10月24日（日）に当院外来ホールにおいて、入院患者さんや地域の方々を対象として、川尻小学校6年生28名による「かしわっ子コンサート」が開催されました。

このコンサートは、総合学習の中で「川尻を元気にするためには歌や音楽がいいのではないかな」と考え企画したそうです。当日は歌や楽器演奏など全7曲を披露していただきました。

どうもありがとうございました。



第49回全国自治体病院 学会が開催されました。

10月14日、15日の2日間、秋田県民会館を主会場に第49回全国自治体病院学会秋田大会が開催されました。



当院の佐々木病院長が学会長を務め、参加者数2,616人、一般演題数1,030題を数え、盛会のうちに終了しました。

参加者、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

第49回全国自治体病院学会事務局
(市立秋田総合病院総務課内)

市立秋田総合病院

理 念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

- 患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努めます。
- 良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。

編集・発行／市立秋田総合病院 平成22年11月25日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel (代表)：018-823-4171 Fax：018-866-7026

E-mail：ro-homn@city.akita.akita.jp <http://www.city.akita.akita.jp/city/ho/newwho/default.htm>